

文化部会

手話コーラスで楽しく福祉講座
～神戸YMCA高等学院で～
手話コーラス同好会
(食文11) 井上 美津子

6月16・23日の両日、手話コーラス同好会は、西区の学園都市にある、神戸YMCA高等学院の生徒を対象に福祉授業を担当しました。3月に学院側から打診がありました。高校生を対象とする授業は私たちは初めての経験で、部内で検討し、学院側と打合せを重ね、学院側の「生徒たちに1つの達成感を味わわせてやってほしい」との声を受け、お引きうけすることにしました。

私たちは平素、介護ホームや福祉センターなど、高齢者を対象に手話コーラスを通して、楽しい時間を持つことを中心に構成しているプログラムを、平成生まれの若者たちにいかに展開するか、手話をどう伝えたらいいのか話し合い、まず、教案を作成し、授業のねらいとして次の4項目を基本とした。

平素何気なく手を使って(身振りや手振り)話をしていることに気づかせ、手話に興味・関心をもたせる

簡単な日常の手話ことばを理解させる

耳の不自由な人達が、気持や言いたいことを伝えたいと長い間、苦労してつくられたものであることを理解させる

手話ことばを組み合わせて、簡単な文章をつくり、歌を手話表現(手話ソング)することを通して、手話に親しみをもたせ、表現力を豊かにする

1日目は、生徒との交流、手話に興味をもたせることに重点をおき、押し付けにならないように配慮し、身近な題材を取り上げ、生徒たちにその例を挙げてもらう。



(YMCA 高等学院での授業風景)



心配していた若者の反応は「ヘーになるほど」「楽しい、もっと知りたい」「何で?がやっとわかった」「おはよう・・・こんにちは・・・こんばんは・・・みんな表現に意味があることがよくわかった」等々、私たちにも勉強になり、手ごたえ充分でした。

「夕焼け小焼け」「ふるさと」「千の風になって」などおなじみの歌を手話表現し(手話ソング)授業を進めた。生徒たちの感想は、「手話は難しいと思っていたけれど、楽しく覚えることができ、嬉しい」「小学校の時少し経験がある。それを思い出して楽しくできた」等々。

2日目は、挨拶・飲食物・数など日常生活の中の手話ことばの学習。前週、手話表現した歌を復習し、手話ソングは音楽療法としても活用できることを伝え、「見上げてごらん夜の星を」「そして思い出」「切手のないおくりもの」の手話表現に重点をおいた。女子生徒は天真爛漫・素直に楽しんでくれましたが、以外だったのが男子生徒たちの真剣な眼差し、熱心に、手を動かし、楽しんでいる様子には、感動すら覚えました。

当たり前のことなのですが、若いということの頼もしさは「覚えが早い」ということです。歌手の坂本 九が福祉活動でよく歌った曲「そして思い出」を取り上げたが、初めての曲を休憩時間に、早速口ずさみながら覚えたとの手話ソングをやっている姿です。「ヘー 流石若いね・・・」は私たちの感想です。

最後に「今日の日はさようなら」を皆で歌いながら手話表現し、授業を終えた。この福祉授業が手話に興味・関心をもち、高齢者や聴覚障害者を理解し、手話への扉を開くきっかけになればと願っています。

民謡記念演奏会ご案内

～民謡クラブ・民謡同好会の指導者 亀田俊彦(KSC音文1期生)喜寿記念～

と き : 平成20年9月23日(火)秋分の日 開場 11時30分
開演時間 12時～16時
と ころ : 舞子ピラ本館2F あじさいホール 入場無料
出 演 : 亀田俊彦(藤本流師範 藤本忠弥)の演奏を中心に、民謡クラブ
会員が唄い踊り、日ごろの成果を披露する。
プログラム : 「民謡紀行 奥の細道を訪ねて」、他 三味線合奏と唄と踊り
特別ゲスト : 藤本 欣秀 藤本 欣声
友情出演 : 藤本 忠成 藤本 忠杉
主 催 : グループわ 民謡クラブ・KSC民謡同好会

それぞれの民謡がもつ美しさ・力強さ・素朴さなどに触れると、心に安らぎと生きる力が湧いてきます。いっしょに民謡を楽しみませんか。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

【お問い合わせ先】

小西利夫 Tel:078-791-4113

E-メール: kobe-konishi1109@kdr.biglobe.ne.jp